

宮城県から搬入される災害廃棄物について

H24.2.19

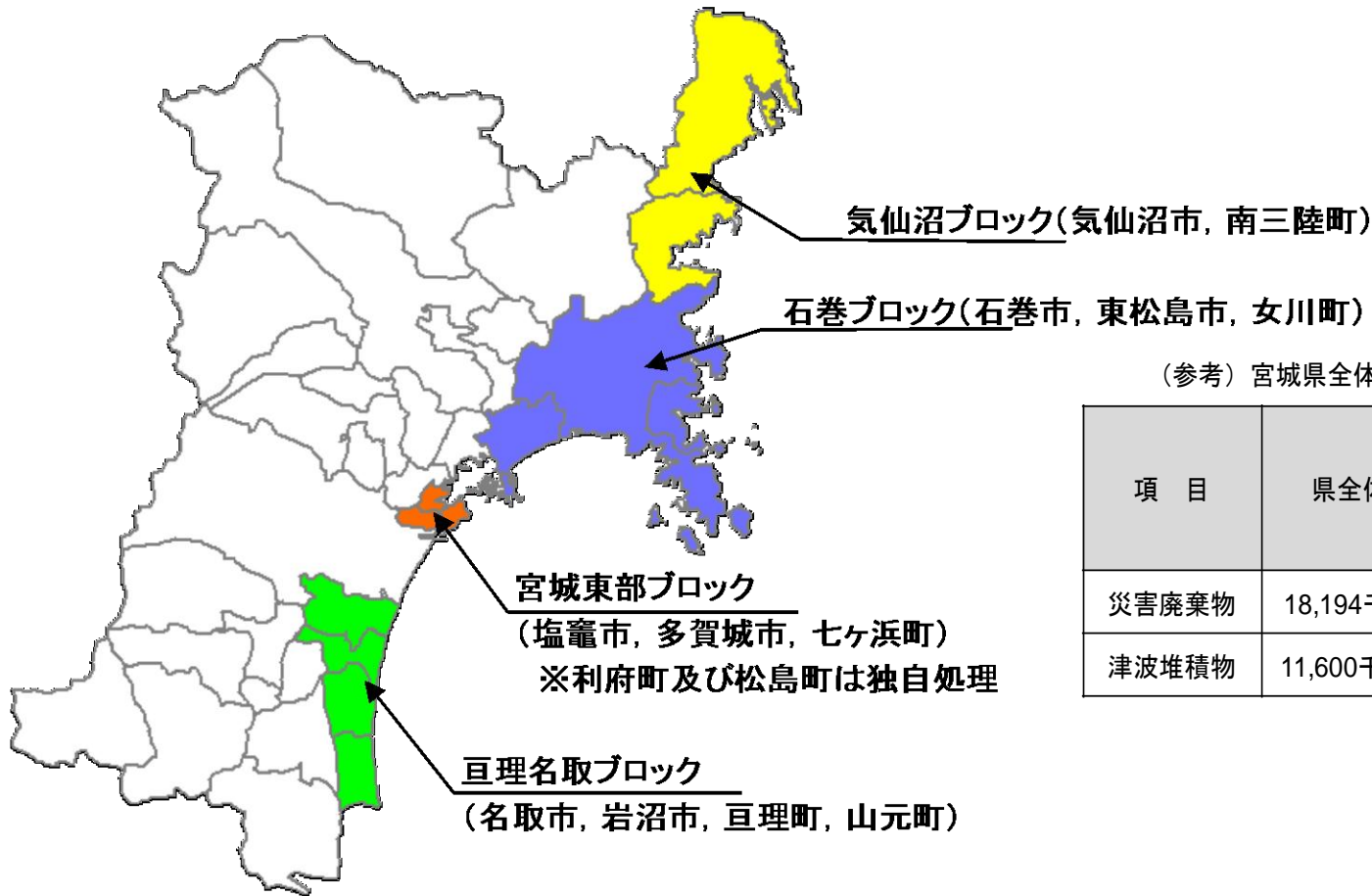
宮城県環境生活部震災廃棄物対策課



宮城県の災害廃棄物処理の現状

◆ 発生量の推計値

- 災害廃棄物(いわゆるがれき類) 1,500万トン~1,800万トン
- 津波堆積物(津波で運ばれた土砂) 10,749千m³



(参考) 宮城県全体の災害廃棄物等の発生量

項目	県全体	石巻ブロック	
		発生量	県全体に対する比率
災害廃棄物	18,194千 t	8,463千 t	47%
津波堆積物	11,600千m ³	3,800千m ³	33%

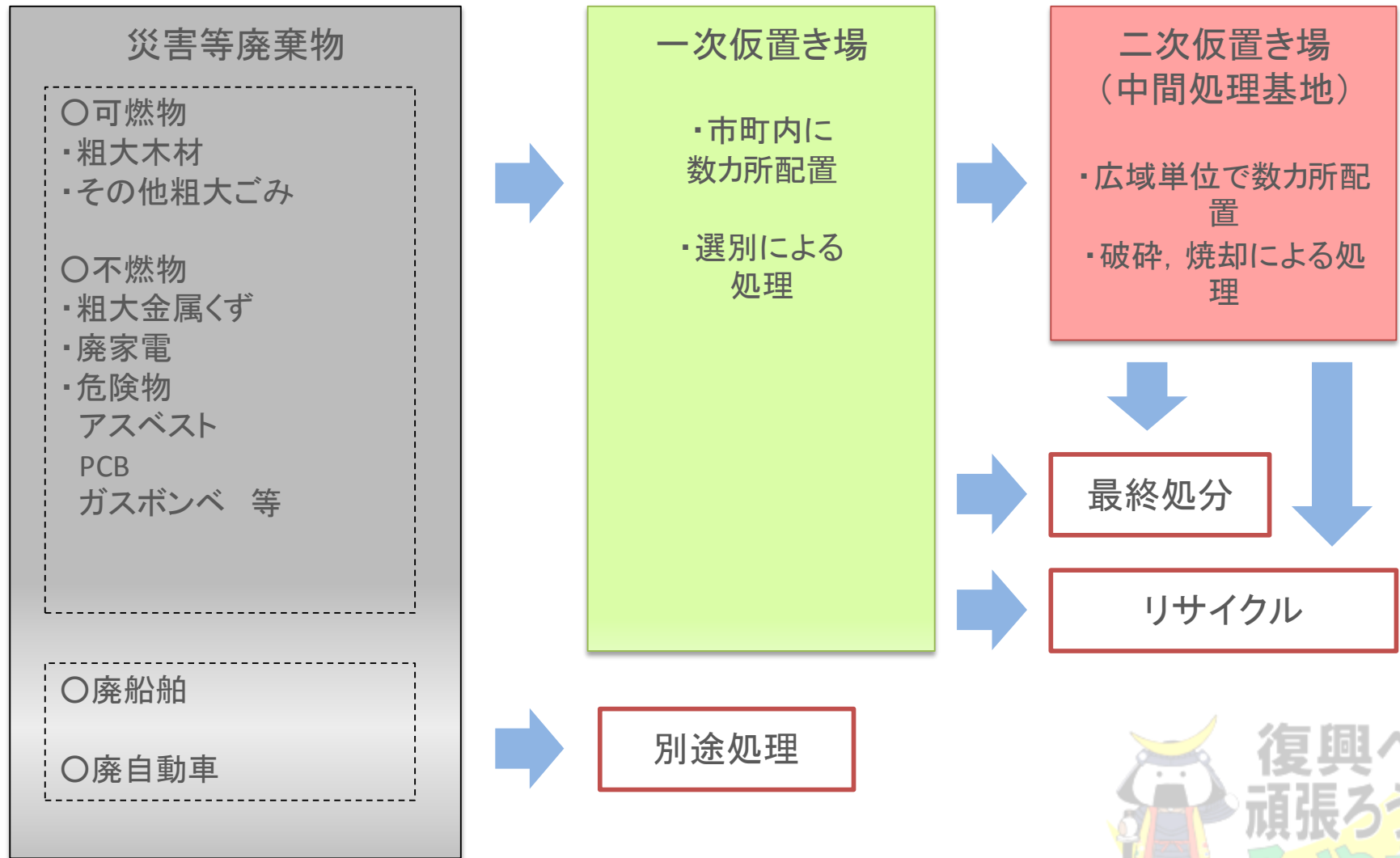


宮城県の災害廃棄物処理のおおまかなスケジュール

平成23年度									平成24年度												平成25年度																	
第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期								
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
<p style="text-align: center;">(プロポーザル) 入札手続き</p>									<p style="text-align: center;">業務着手 (造成・プラント建設)</p>									<p style="text-align: center;">プラント試運転 → プラント稼働 → 最終処分</p>												<p style="text-align: center;">二次仮置き場撤去・復旧 事業完了</p>								



災害廃棄物処理の流れ



石巻ブロック二次仮置き場

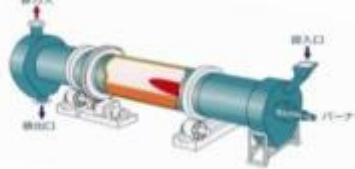
- ・石巻市雲雀野町 68ha
- ・破碎分別能力3,000t/日
- ・焼却能力1,500t/日
- ・国内最大のがれき処理基地
- ・5月から順次稼働



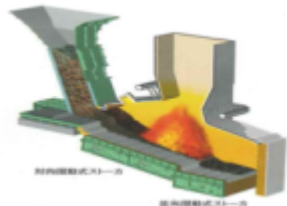
破碎施設イメージ



焼却施設イメージ (1,500t/日)



ロータリーキルン
(300t/日 × 2炉)



ストーカ炉
(300t/日 × 3炉)



石巻市の災害廃棄物の現状

◆ 逼迫する仮置き場

- 25箇所の仮置き場に260万トン以上の災害廃棄物等を搬入済だが、飽和状態
- 火災やぼやも秋口から頻発
- 今後も大量の解体すべき建築物を抱えているが、解体材の置き場がない
- 一刻も早い二次処理が必要



- ## ◆ しかし...二次仮置き場の建設予定地に堆く積まれた災害廃棄物と津波堆積物 →片付け作業と二次仮置き場の建設作業を並行



処理量の見込みについて（宮城県受託分全体）

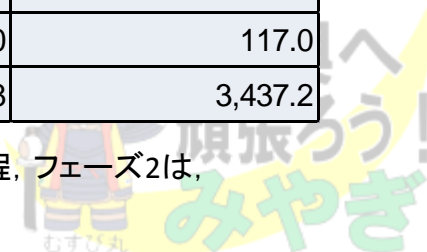
- ◆ 大原則 「ブロック内処理＞県内処理＞県外処理」「リサイクル優先」
→ 県内で処理できない場合のみ、県外に処理をお願いします
- ◆ 今後とも処理方法の工夫を続け、県内処理量を増やす努力を継続します

■ 宮城県の受託処理量及び各ブロックの処理の内訳(単位:千トン)

H24.2.19 現在見込み量

ブロック	宮城県の受託処理量			
	ブロック内処理量	県内処理量	県外処理量	
気仙沼ブロック				
石巻ブロック(フェーズ1)	721.0	310.0	13.0	398.0
石巻ブロック(フェーズ2)	6,133.0	3,055.0	536.0	2,542.0
宮城東部ブロック	457.0	319.2	77.2	60.6
亘理名取ブロック(名取処理区)	260.0	200.0	33.0	27.0
亘理名取ブロック(岩沼処理区)	381.0	235.0	99.5	46.5
亘理名取ブロック(亘理処理区)	864.0	401.8	215.1	246.1
亘理名取ブロック(山元処理区)	507.0	189.0	201.0	117.0
計 ※気仙沼ブロック除く	9,323.0	4,710.0	1,174.8	3,437.2

※石巻ブロックのフェーズ1は、二次仮置き場建設予定地に既に積まれている廃棄物を処分する工程、フェーズ2は、二次仮置き場稼働開始後の工程を指す。

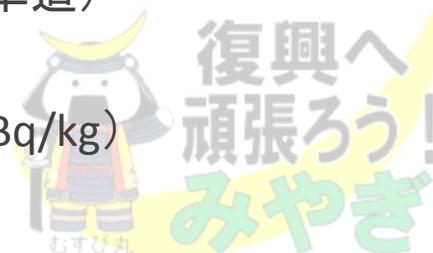


今回処理をお願いする廃棄物について①

- ◆ 品目 : 家畜用飼料(石巻市内の飼料会社から発生したもの)



- ◆ 処理方法 : 八戸セメント(株)によりセメント原燃料として焼結・焼成処理
- ◆ 処理量 : 40トン／日程度(およそ月1,000トン程度) ダンプ5台～6台程度
※ 発生総量は36,000トン程度→宮城県内外の施設で分散処理する計画
- ◆ 運搬方法 : 陸送(三陸自動車道～東北自動車道～八戸自動車道)
- ◆ 放射性物質 : 不検出(検出下限値 ^{134}Cs : 14Bq/kg, ^{137}Cs : 12Bq/kg)



今回処理をお願いする廃棄物について②

◆ 安全対策事項

1. 放射能対策
2. 飛散防止対策
3. 臭気対策

1. 放射能対策

- 自主的に以下の検査を行います。
- 月1回の放射性物質濃度測定
- 毎日の空間線量検査(仮置き場, 車両毎の2段階)
- 結果については, 随時八戸市に報告します。

2. 飛散防止対策

- 搬出車両にゴム製のシートをかけることにより, 廃棄物の飛散を防止します。また, 臭気対策にもなります。

3. 臭気対策

- 発酵臭があるため, 搬出時に消臭剤を散布します。
薬剤は選定中ですが, アンモニア及び硫化水素に効果の高く,
かつ無害のものを使用します。



災害廃棄物の搬出元として，責任をもって皆様へのご迷惑を最小限にするよう務めさせていただきます。

石巻の一日も早い復旧・復興のため，何卒御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

宮城県環境生活部震災廃棄物対策課

石巻ブロック災害廃棄物処理JV事務所

